

美良布保育園建設事業 3パターン比較表

	現地建替	移転	大規模修繕(リフォーム)
階数・面積	木造 平屋建て 885㎡	木造 平屋建て 885㎡	鉄筋コンクリート造 平屋建て 740㎡
供用開始(最速の場合)	令和11年4月	令和13年4月	令和11年4月
留意点(メリット)	①建設基本計画に基づき作成した設計内容を流用できる。	①新園舎の供用開始まで、現園舎で保育活動を実施できる。 ②土地利用の自由度が高い。	①一部屋ずつ、工事を行うことから、現園舎で保育活動を実施できる。
留意点(デメリット)	①仮園舎の用地が見つからない状況にあるため、工事期間中は、美良布保育園を休園し、他の保育園で保育活動を行う必要がある(保護者送迎を想定)。	①土地の取得に時間を要する(地権者の同意が必要となる)。 ②周辺住民との合意形成が不確実である(周辺住民の同意が必要となる)。 ③「建設基本計画に基づく建設計画案」の設計費の返納が必要になる。	①工事中に若干、騒音が出る。 ②一部屋ずつの工事となることから、工期が延びる。 ③周辺道路は現状のまま、残る。 ④「建設基本計画に基づく建設計画案」の設計費の返納が必要になる。
費用(単位:円) 【※「移転」「大規模修繕(リフォーム)」については概算費用の試算】			
①園舎建設(大規模修繕)	650,000,000	650,000,000	300,000,000
②現園舎解体	(北園舎) 30,000,000	(北園舎+南園舎) 50,000,000	0
③道路整備	20,000,000	(規模によって異なる) + α	0
④土地購入費	0	(5000㎡想定) 30,000,000	0
⑤用地造成	0	(5000㎡想定) 29,700,000	0
⑥設計監理	(規模によって異なる) + α	(規模によって異なる) + α	(規模によって異なる) + α
⑦「建設基本計画に基づく建設計画案」が廃案となった場合の繰上償還額	(変更内容によって発生する場合がある) 0	(加算金が+ αとなる) 49,600,000	(加算金が+ αとなる) 49,600,000
⑧合計	700,000,000	809,300,000	349,600,000
⑨交付税措置(①+②+③+④+⑤+⑥)×0.7	490,000,000	531,790,000	210,000,000
⑩市の実質負担(⑧-⑨)	210,000,000	277,510,000	139,600,000

※上記⑧⑨⑩は、設計内容、土地条件によって費用の増減があります。